

創薬薬理学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Huy NT, Chi PL, Nagai J, Dang TN, Mbanefo EC, Ahmed AM, Long NP, Thoa LT, Hung LP, Titouna A, Kamei K, Ueda H, Hirayama K: High-throughput screening and prediction models building for novel hemozoin inhibitors using physicochemical properties. *AAC* 61(2), 2017 (IF:4.302)
2. Ueda H, Sasaki K, Halder SK, Deguchi Y, Takao K, Miyakawa T, Tajima A: Prothymosin alpha-deficiency enhances anxiety-like behaviors and impairs learning/memory functions and neurogenesis. *J Neurochem* . 141:124-136,2017 (IF:4.083)
3. Ueda H, Neyama H:LPA1 receptor involvement in fibromyalgia-like pain induced by intermittent psychological stress, empathy.*Neurobiology of Pain*.16-25,2017 (IF—)
4. Ueda H, Kurita J, Neyama H, Hirao Y, Kouji H,Mishina T,Kasai M,Nakano H,Yoshimori A, Nishimura Y:A mimetic of the mSin3-binding helix of NRSF/REST ameliorates abnormal pain behavior in chronic pain models. *Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters*.27:4705-4709,2017 (IF:2.454)
5. Tsukahara T, Yamagishi S, Matsuda Y, Haniu H.: Lysophosphatidic acid signaling regulates the KLF9-PPAR γ axis in human induced pluripotent stem cell-derived neurons. *Biochem Biophys Res Commun*. 491 (1): 223-227, 2017 (IF:2.466)
6. Tsukahara T, Matsuda Y, Haniu H. Lysophospholipid-Related Diseases and PPAR γ Signaling Pathway. *Int. J. Mol. Sci.* 18(12) E2730, 2017 (IF: 3.226)

A-b

1. Ueda H Lysophosphatidic acid signaling is the definitive mechanism underlying neuropathic pain.*PAIN*. 158(4):55-65,2017(IF: 5.445)

A-e

1. Clauw DJ,Ueda H : Summary of the Fibromyalgia Research Symposium 2016 in Nagasaki. *Pain Rep* 2(1):e582,2017

B 邦文

B-b

1. 植田弘師、藤田和歌子: オピオイド鎮痛薬関連研究の新たな展開 2.オピオイド受容体概論 『オピオイド受容体概論』、ペインクリニック 38 (15) 日本におけるオピオイド鎮痛薬の臨床と基礎研究の展望: 157-166、2017
2. 植田弘師：神経障害性疼痛と線維筋痛症様モデルマウスにおける LPA 受容体を介する痛みメモリー機構、PAIN RESERCH 32(4)240-245,2017

B-c

1. 線維筋痛症ガイドライン 2017、疾患の解説とトピックス：慢性疼痛の基礎科学の進歩、P18-24

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
3		1	5	2	27

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
植田弘師・教授	評議員	日本薬理学会
植田弘師・教授	評議員	日本神経化学会
植田弘師・教授	評議員	日本生化学会
植田弘師・教授	理事	日本疼痛学会
植田弘師・教授	副理事長	日本線維筋痛症学会
植田弘師・教授	Councilor 役員	国際疼痛学会(IASP)
植田弘師・教授	Life Science, Editorial Advisory Board	Elsevier
植田弘師・教授	Molecular Pain, Editorial Advisory Board	BioMed Central

植田弘師・教授	科学研究費委員会専門委員	(独)日本学術振興会
植田弘師・教授	Pain Management, Editorial Board	Future medicine
植田弘師・教授	Neurobiology of Pain, Editorial Board	Elsevier
塚原完・准教授	Fundamental Toxicological Sciences 編集委員	日本毒性学会
塚原完・准教授	薬剤師国家試験問題検討委員会委員	日本私立薬科大学協会

競争的資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
植田弘師・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金（基盤研究 A） 「LPA シグナル制御薬の慢性疼痛診断・治療基盤研究」
植田弘師・教授	公益財団法人 喫煙科学研究財団	代表	一般研究助成金「慢性閉塞性肺疾患に対するエピゲノム創薬研究」
植田弘師・教授	第一三共奨学寄付プログラム	代表	脳卒中後性、糖尿病性ならびに末梢神経損傷にもとづく神経障害性疼痛と情動性の性質を有する線維筋痛症や mirror-image 疼痛における病態生理学ならびに治療薬理学的研究
塚原完・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金（萌芽） 「ブタ肝臓分解物由来生理活性物質による脊髄損傷治療薬の開発」
塚原完・准教授	タケダ・リサーチサポート	分担	民間助成 「ブタ肝臓分解物 (PLDP) の認知機能善効果に関する臨床薬理学的研究」

特許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
植田弘師・教授	脳障害治療剤	2002年 5月29日	2007年 11月22日	特願 2002-156446 特許第 4043290
植田弘師・教授	神経細胞死抑制剤	2004年 1月22日	2010年 8月6日	特願 2005-508118 特許第 4564922
植田弘師・教授	神経選択的転写抑制因子 NRSF に特異的に結合する mSin3B に結合する化合物の利用	2011年 2月9日	2015年 12月8日	米国特許 9,206,125
植田弘師・教授	神経選択的転写抑制因子 NRSF に特異的に結合する mSin3B に結合する化合物の利用	2011年 2月9日	2015年 12月11日	特許第 5850321 号
植田弘師・教授	血液脳関門障害改善剤	2013年 2月13日	2016年 1月22日	特願 2013-558713 特許第 5870369
植田弘師・教授	線維筋痛症の治療方法	2009年 8月7日	2014年 8月12日	米国特許 8,802,706
植田弘師・教授	全身性疼痛症候群の治療または予防薬	2009年 8月7日	2015年 2月13日	特願 2010-523905 特許第 5692746
植田弘師・教授	全身性疼痛症候群の治療または予防薬	2009年 8月7日	2015年 7月8日	EP 特許 2324852
植田弘師・教授	血液脳関門障害改善剤	2010年 8月9日	2014年 11月21日	特願 2011-526757 特許第 5648637
植田弘師・教授	血液脳関門障害改善剤	2010年	2015年	米国特許 9,023,835

		8月9日	5月5日	
植田弘師・教授	血液脳関門障害改善剤	2013年 2月13日	2016年 1月22日	特許第5870369号
植田弘師・教授	全身性疼痛症候群の治療または予防薬	2014年 6月30日	2016年 2月23日	米国特許9,265,751
植田弘師・教授	神経変性疾患モデル非ヒト哺乳動物	2012年 5月18日	2016年 2月16日	米国特許9,259,487
植田弘師・教授	神経変性疾患モデル非ヒト哺乳動物	2012年 2月9日	2016年 8月5日	特許第5979629号
植田弘師・教授	新規放射線防護剤	2016年 7月20日		特願2016-142646
植田弘師・教授	血液脳関門障害改善剤	2013年 2月13日	2017年 4月11日	米国特許9,265,751
植田弘師・教授	新規放射線防護剤	2017年 7月19日		PCT/JP2017/026101

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
植田弘師・教授	大学院特別講義 講師（病態分子薬理学）	京都府立医科大学
塚原完・准教授	客員准教授（実務実習プレ教育）	日本薬科大学さいたまキャンパス

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
植田弘師・教授	第90回日本薬理学会	長崎新聞	2017年 3月16日	第90回日本薬理学会 年会長を務める 国内外より約1700人が参加した